



令和7年度PTAの本部役員へのお誘い

令和6年7月

根戸小学校 PTA

会長 青木美鈴

本部役員選考委員会

「来年度PTA本部役員やってみませんか？」



学校に通う子どもを持つ親ができる、一番身近なボランティア活動といえる根戸小PTAでは、あなたが力を貸してくれるのを待っています。

PTAはただのボランティアサークルです。無理してやる活動ではありません。

PTAで大切なことは、子どもたちのために何かできることはあるかな？と問い続けることだと思います。また保護者の皆様が子どもたちの学校生活に興味を持つきっかけになったら、それでいいのではないかと感じています。

そんな考えをもとに、必要なことに絞って活動するようにしています。

そうは言っても役員って大変なんでしょ、と思っている方が多いと思います。

たぶん皆様が持っているイメージよりも大変ではないです。

PTAは最も身近なボランティア活動です。しかも自分の子どものためにもなるのです。

ちょっと子どもたちのためになることをしてみようかな、そんな気持ちがあったらぜひ考えてみてください。

ちょっと勇気を出して一歩踏み出して子どもたちや学校の役に立つことをやってみませんか。

※立候補が集まらないと、PTAを解散することを考えないといけないことになるかもしれません。それは子どもたちも先生方も困ることが出てくると思います。

質問などがありましたら、お気軽に nedousyoutayakusen@gmail.com まで、ご連絡ください。



① そもそもPTAって何だろう？

学校生活をより良いものとするために保護者と教職員が協力するものと考えています。

② 本部役員って何をするの？

会長（1名）… 校内行事出席挨拶、会議の招集、手紙の把握、校外会議出席等

副会長（2名以上）… 会長の補佐、PTA活動の取りまとめ、本部文書作成

書記（2名以上）… 会議の議事録作成と報告書作成、印刷物の管理、文書作成

会計（2名以上）… PTA会計の予算案作成、中間&年度末決算作業、備品管理

会計監査（2名以上）… PTA会計の監査

※これら以外に役員全体として、本部役員会や常任委員会の開催、バザーの運営、各委員会と本部との橋渡しなどがあります。

※来校頻度は通常は月1回程度です。年度末、年度始めはそれより少し多くなります。

③ 活動のスリム化を進めています

印刷物の作成、配布は手間がかかるため、学校の一斉メールやホームページ、ウェブでのアンケート、SNS等を活用しています。学校などに集まるのは必要な時だけにするなど、無駄のない活動となるよう心がけています。

④ やってよかった、こんなことあんなこと

- 「こんなことあるんだ」「そういうことなのね」などなど、学校の知らなかったことをいろいろ知ることができる。
- 子どもと学校の話をするようになって、以前より話をする機会が増えた。
- 先生方と話す機会があるので、いろいろなことを相談ができてよかった。
- やって見たらけっこう楽しかった。

本部役員経験者からは、こんな感想が出ていました。

⑤ Q&A

Q1:仕事をしていても大丈夫ですか？

A:今はお仕事をしている方が多く、本部役員もフルタイムで仕事をしている人が多くなっています。そのようなメンバーでも無理のない活動をしようとしています。

年度ごとに集まった役員のメンバーによって活動しやすい日は変わってきます。やりやすいやり方を話し合って活動するようにしています。

Q2:パソコンができないとダメですか？

A:できなくても大丈夫です。全員ができないとなると厳しいかもしれませんが、パソコンを使うのは配布文書、ホームページ掲載資料の作成くらいです。これも手書きがダメということはないので、

必ず必要というわけでもありません。

それぞれの方が得意なことを持ち寄って活動すればやっていけると考えています。

ただし、今ほとんどの連絡や相談、決め事は LINE を使ってやっています。スマホは使えた方がいいです。

Q3：子どもの病気や急用などで活動を休むことはできますか？

A：活動は候補日をいくつか出して、なるべく多く参加できる日を選んでいきます。それでも全員が揃うのは難しいのが現状です。事前に決めても欠席はあります。無理を重ねてまで出席するものではないと考えています。(Q5も参照してください)

Q4：父親でもできますか？

A：もちろんできます。男性の意見に「そういうこともあるんだ」と思うこともあるので、男性がいた方がいいと感じています。意見を述べてくれるオブザーバー的な立場でもいいので、ぜひ入ってほしいと思っています。

Q5：小さい子を連れての活動はできますか？

A：小さい子を連れての参加も大丈夫です。子どもを預けて参加できる時もありますし、預けられない時もあると思います。

様々な立場の様々な考えを持った人のいろいろな意見を取り込んでいけることが大切だと思っています。そのため小さい子がいる家庭の方にも入ってもらいたいと考えています。

Q6：この役職ならやりたい。この役職以外だったらやりたい、と希望することはできますか？

A：希望はできますが、必ず希望通りになるとは限りません。希望が重なった場合は話し合いで決めます。

⑥ 児童一人につき6年間の在学中に1役を以下の役員、委員などの中から引き受けていただきたいです。

PTA 本部役員、学年委員、広報委員、ベルマーク委員、本部役員選考委員、バザー委員、地区委員（少年指導員を含む）、PTAバレーボールのキャプテン

※少年指導員は任期2年のため、2年目は兄弟姉妹にあてることができます。

★PTA 本部役員を引き受けた人は、年間の活動内容や活動量を勘案し、その任期中に在学している児童全てにあてることができます。

PTA本部役員を1年やると在学中の子全員の活動となる⇒2人でも3人でも在学中の子の分は1回(1年)で委員活動完了！！

PTA会長から

時代は変わっています、PTA も変わらないといけません。

「できるひとが、できるときに、できることを」がPTA活動の基本です。

保護者の働き方やあり方も様々で、一人一人の児童の家庭生活も多様です。

「平等」よりも「公平」という考え方で、多様性を受容することが必要だと考えています。

保護者の皆様が、快く活動できるよう、PTAのあり方について、時代に即した活動が進められていくように心がけて活動しています。

一概に何が正解かは言えませんが、一人一人の考え方やあり方も多様なように、PTAのあり方自体も多様であり、いろいろな形があってよいと思います。

「ごめんなさい、今ちょっとできないので誰かできませんか?」「今なら私できますよ」という助け合える関係が大事だと考えています。

都合がつかずに欠席するのは仕方のないことで、補い合ってやっていけばいいと思っています。

本部役員だけで無理な時は、助けを求めてボランティアやアイデアを募集、思い切ってやめてしまうことも検討するなど、無理せずやっていくようにしています。

子どもにとって学校は家庭以外で最も長い時間を過ごす大切な場所です。

そんな場所がどういうところで、どんな雰囲気なのか、PTA活動を通して肌で感じられるのがPTAのいいところです。

PTAが子どもと学校のことを話すきっかけになり、子育てや学校生活をみんなで楽しめることにつながる、そうなることを願っています。

根戸っ子の笑顔のために、あなたの力を役立ててみませんか?

ほんの少し勇気を出して、一歩踏み出してくれる方がいることを祈っています。